



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1934, 14(159)

ISSUE DATE:

1934-06-25

URL:

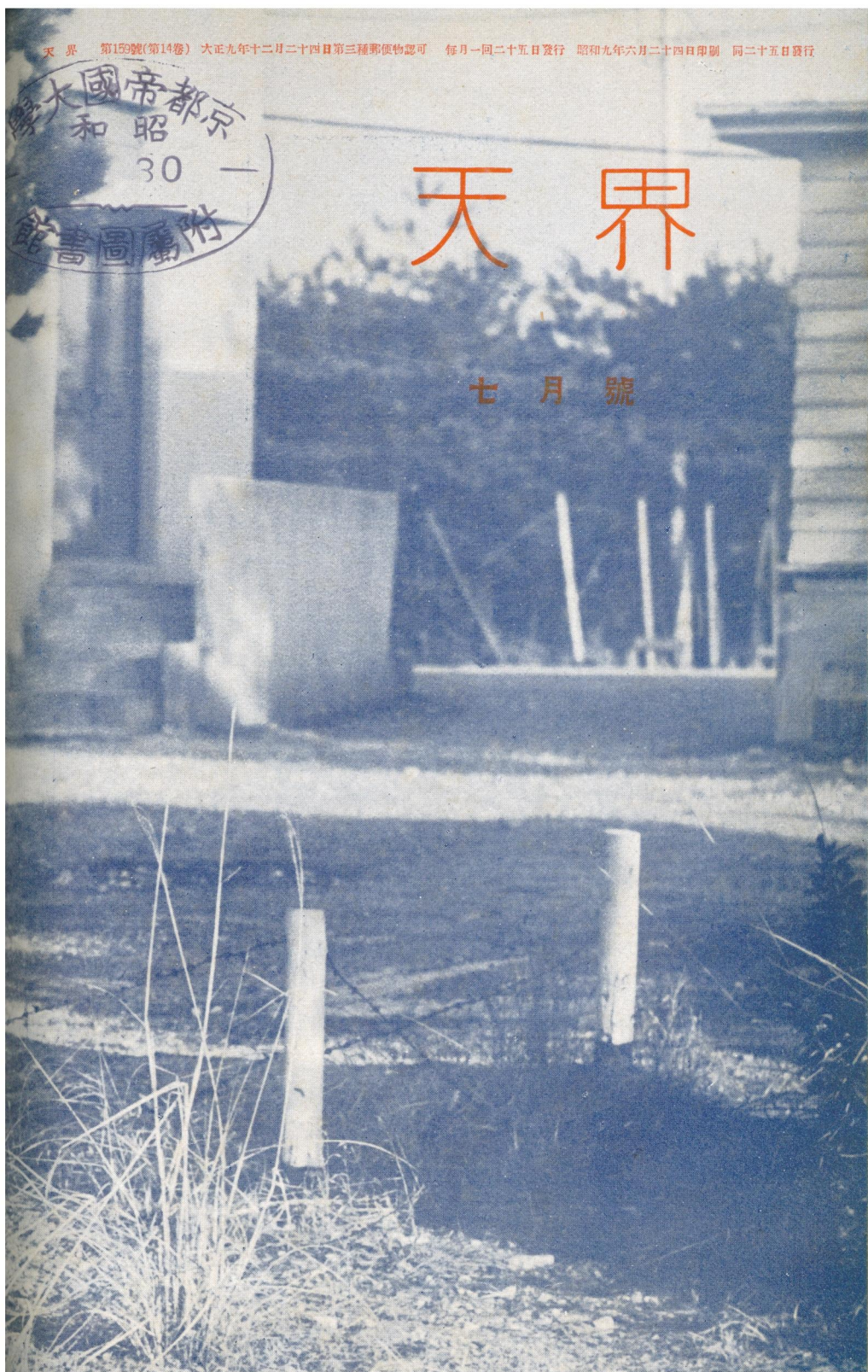
<http://hdl.handle.net/2433/165561>

RIGHT:

大國帝都京
和 昭
30
附屬圖書館

天 界

七 月 號

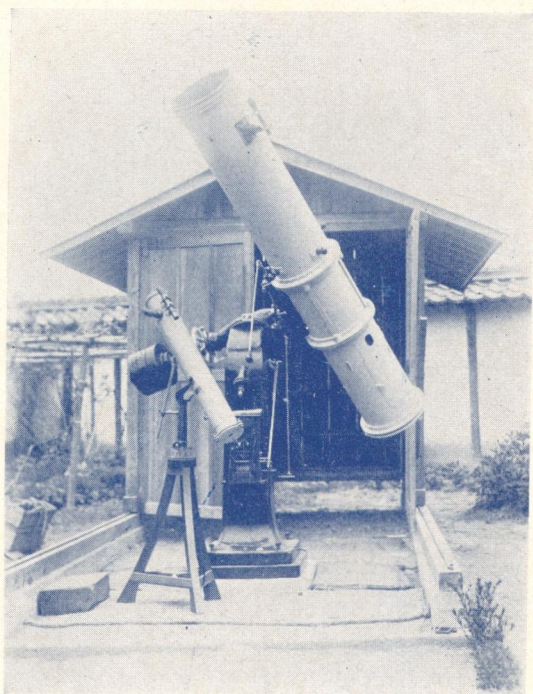


木 星



1934年5月26日木邊氏描く(本文第342頁参照)

木邊氏の新望遠鏡



口径30厘米、國産第一の大反射鏡が滋賀縣木邊氏の
觀測所に出來た(本文第331頁参照)

東亞天文協會

倉敷にて夏期講習會

天文同好會

例年の通り、天文學普及のため下の如き講習會を開きます。一般人士に開放されたる本邦唯一の天文講座です。遠近より參加されたし。

時 日： 昭和九年八月18日(土)より同20日(日)まで毎日9時より午前中。夜は觀測

場 所： 岡山縣倉敷市倉敷天文臺 宿舍の御世話を致します。

講師及び題目：

1. 「初等天文學一般」

理學博士 山 本 一 清氏

2. 「星座の知識」

本會副會長 水 野 千 里氏

3. 天體觀望指導

臺 員 荒 木 健 兄氏

詳細は下記へ至急に問い合わせられたし。

岡 山 市 門 田 18

水 野 千 里 氏

天 界 第百五十九號 (第十四卷) 昭和九年七月號 要 目

(表紙)花山の子午線館のほとり。(口繪)木星、木邊氏の新望遠鏡、
ブラジル支部の人々。

“天文學名詞”を見る	321
東亞天文協會五月例會の記事	322
高松宮兩殿下を迎へ奉りて	倉敷天文臺 水 野 千 里... 323
廣島支部だより	325
原子は人工によりて變轉す(完)	臺北帝大 理學博士 荒 勝 文 策... 326
移 轉！(山本)	330
三十糎新反射赤道儀	滋賀縣中里 木 邊 成 磨... 331
たより(野尻氏より)	334
花山だより	335
1934年度に於ける花山天文臺談話會(略記)	336
研究欄 { 東亞天文協會觀測部月報 ○變光星課 ○黃道光課 ○寫眞課 ○小遊星と彗星 ○流星課 ○遊星面課 ○太陽課	337
{ 外國天文雜誌最近號要目 “Zeitschrift für Astrophysik” (續き)	344
倉敷天文臺通信	345
再び小時計の精度について	東京 押 田 勇 雄... 346
北米旅行記(完)	理學博士 山 本 一 清... 348
たより(神戸菰部氏より)	357
昭和九年七月の天象	358—360

Contents of the HEAVENS, No. 159 (July 1934)

Around the “Meridian” of Kwasan (Covers); Jupiter by Mr. S. Kibe, Kibe's New 30cm Reflector, Our Brazilian Branch (Frontispieces); Chinese “Astronomical Terms”, a short review (321); Proceedings of the May Meeting, O. A. A. (322); Ch. Mizuno, T. I. H. Prince and Princess Takamatu at the Kurasiki Observatory (323); Prof. B. Arakatsu, Artificial Transformations of Atoms, concluded (326); S. Kibe, New 30cm Reflector (331); Kwasan Notes (335); Monthly Reports of Observing Section, O. A. A. (337); Latest Astronomical Literatures (344); Krasiki Communications (345); I. Osida, Second Notes on the reliability of small timepieces (346); I. Yamamoto, My American Tour, concluded (348); The Heavens of July, 1934 (358).

花 山 急 報

最 近 號 目 次

花山天文臺活躍の源泉、刻々に發表される天文ニュース、各方面の觀測者への指令、その他、學界の動靜に關するあらゆる報告を、其の日其の日に入手し得る謄寫刷の急報。購讀希望者は東亞天文協會事務所(花山天文臺)に問ひ合はされたし。

- 第71號 (1933年11月19日)流星觀測の概況。
第72號 (1933年11月22日)流星觀測報告續々到着す。
第73號 (1933年11月25日)流星觀測報告概況。
第74號 (1933年11月30日)その後受取つた流星觀測。
第75號 (1933年12月4日)其の後に受けた流星觀測報告、獅子座流星群に關する結果概報、急報配布希望者へ、天界の流星號について。
第76號 (1933年12月15日)その後の流星觀測報告、二大遊星の掩蔽。
第77號 (1933年12月23日)二大遊星の掩蔽觀測狀況、双子座流星群の觀測、その後の獅子座流星觀測報告、龍座流星群の觀測をすゝむ、花山ブレテンの新裝。
第78號 (1934年1月9日)小遊星(1036) Ganymed の位置豫報、此頃の獅子座流星群の觀測報告、金星の掩蔽寫眞。
第79號 (1934年1月26日)今年最初の月食。
第80號 (1934年1月31日)高緯度に太陽新黑點、寫眞課の人々に、2月に満月なし。
第81號 (1934年2月1日)ミラの増光。
第82號 (1934年2月10日)日食近し。
第83號 (1934年2月20日)2月14日の日食觀測に關する諸報告、花山ブレテンの日付について。
第84號 (1934年3月31日)本年最初の彗星發見さる。
第85號 (1934年4月10日)木星面上に一大白點現る。
第86號 (1934年4月15日)木星の斑點に關する確報、シグスマン・ワハマン彗星1925 II 推算表。
第87號 (1934年5月8日)北冠座R星について。
第88號 (1934年5月10日)明るい新變光星射手 V 505 を觀測せよ。
第89號 (1934年5月28日)ジャクソン星について、東亞天文協會五月例會概況。
第90號 (1934年5月28日)經度緯度觀測の要求に應ず。
第91號 (1934年5月30日)太陽に大紅焰現る。木星上に一大白點？
第92號 (1934年5月30日)特に觀測を要求される小遊星。
第93號 (1934年6月5日)花山天文臺の公開、京都帝國大學夏季講演會天文關係事項、倉敷天文臺に高松宮同妃兩殿下啓、太陽大紅焰に關する後報。

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記の十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小楨孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一清)
7. 機械課 (課長 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本一清, 幹事 木邊成麿, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫真課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補助スル。
- 第四條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計ハ月十五錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事。

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(昭和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習 (各地デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌“天界”ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

會 員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ齎出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

役 員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評 議 員 若干名 役員ノ相談相手トナル

東亞天文協會

會員に關する報告 (5月10日—6月16日)

〔入會〕	五申天文研究會	東京市小石川區駕籠町東京第五中學校內
	古川 一 夫	和歌山縣有田郡保田村字千田 1903
	齊木 一 郎	札幌市豐平町三條九丁目
	渡邊 襄	廣島市翠町七寶通1586
	塚本 義 一	花山天文臺(滋賀縣蒲生郡市邊村)
〔觀測部加入〕	谷口 道 夫	東京市蒲田區小林町238
	大口 周 作	大阪府南河內郡野田
	前田 治 久	京都市下京區
	田中英太郎	京都市東山區
〔轉居〕	水野 千 里	岡山市門田18
	藪本 弘	福井縣敦賀町東津179號の15
	田北 佐 平	東京市澁谷町向山92
	飯島 正 治	長野縣西筑摩郡大桑小學校
	梅本 悅 夫	大阪市天王寺區逢阪上ノ町
	吉川 晋	東京市麻布區市兵衛町二丁目81
	黑田 辰 夫	(元金澤) 大阪市天王寺區伶人町137
	野村 秋 馬	東京市本郷區駒込蓬萊町18第二福音館內
	河原 辰 夫	(元福岡) 門司市上本町一丁目1984の2
	見元 了	(元臺灣) 高知市潮江天神橋
	草川 顯 義	高知市通町一丁目
	植田 又 一	(元三重) 神戸市林田區寺地町二丁目247
	金子 錫	大阪市大正區泉尾女學校內
	藤川 元 春	三重縣松坂市殿町
	高崎 榮 作	富山市相生町三ノ向
	廣瀬 滿 敏	(元神戸) 京都市左京區鹿ヶ谷寺ノ前町89の2
	中井 正	(元名古屋) 三重縣四日市市南町525
	田村 錄 郎	滋賀縣東淺井郡虎姫村 虎姫中學校內
	古川 力 夫	臺灣高雄州鳳山郡小港庄 後壁林製糖所

注意 移轉通知を御送り下さる方は、新住所に必ず前住所を並記されたし。會員名簿整理の都合上、新・舊住所御並記なき場合「天界」下着に終る事あるべし。
(事務室)

東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

會長	山本一清	(京都市吉田泉殿町59)〔電話上5098〕
副會長	水野千里	(岡山市門田21)
會計監督	池田政晴	(京都市左京區岡崎黑谷町11)
幹事	竹田新一郎	(京都市上京區石藥師通河原町西入)
同	稻葉通義	(京都市花山天文臺)
會計	高城武夫	(同上)〔電話上6165〕
本部	京都市山科, 花山天文臺	
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市	(電話35)——原名譽臺長〔電話75〕

一支 部一

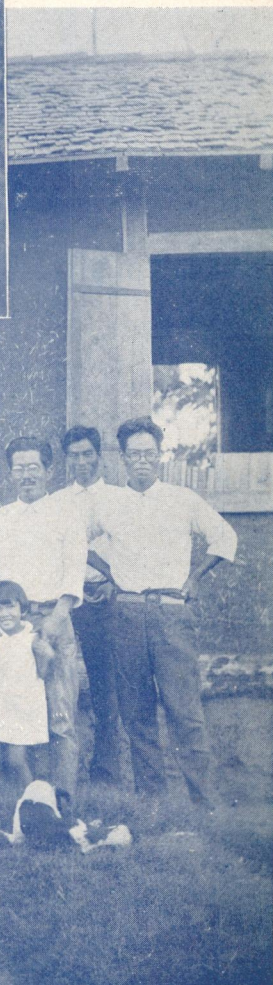
同志社大學內〔電話上局430〕	增太郎	勇郎	次郎	達
室町錦上ル明倫小學校〔電話上局2236〕	井橋	秀二	辨香	文千
京都市第三高等學校〔電話上局301〕	井伊	孝	山發	島野
東區安土町三丁目船場小學校〔電話上局930〕	井小	村改	大水	森
大阪府豐中中學校〔電話上局118〕	河	真	惠	廣
和歌山縣有田郡金屋	路	田	藤	津
兵庫縣尼崎商工實修學校〔 〕	甲	安	一	藤
神戸市須磨區關守町〔須磨140〕	午	安	一	藤
姫路高等學校〔電話上局1145〕	郎	夫	郎	吉
岡山市門田21	夫	郎	吉	夫
津山市山下96〔 〕	齊	吉	郎	郎
高松市	一	郎	三	郎
松山高學校〔電話上局395〕	三	郎	三	郎
廣島市上柳町34	齊	一	郎	三
山口市山口縣立教育博物館〔電話上局294〕	人	衛	彦	市
下關市丸山町梅光女學院〔 〕	三	郎	三	郎
福岡縣前原町西町	情	勝	小	興
熊本市縣立工業學校〔電話上局252〕	太	郎	三	郎
大牟田市通町二丁目207	永	太	郎	三
第七高等學校造士館〔電話上局7〕	水	口	民	次
東區德川町6ノ6〔東4204〕	氏	氏	氏	氏
濱松高等工業學校〔電話上局973〕	氏	氏	氏	氏
橫濱市	氏	氏	氏	氏
世田谷區弦卷町1の142〔電話上局3050〕	氏	氏	氏	氏
長野縣上田市原町三丁目〔 〕	氏	氏	氏	氏
長野市	氏	氏	氏	氏
松本市筑摩部	氏	氏	氏	氏
長野縣上諏訪中學校〔電話上局201〕	氏	氏	氏	氏
札幌市北六條西十一丁目	氏	氏	氏	氏
旭川中學校內〔 〕	氏	氏	氏	氏
小樽市綠町三丁目八番地はノ47	氏	氏	氏	氏
奉天市葵町12の2	氏	氏	氏	氏
大連市	氏	氏	氏	氏
京城府	氏	氏	氏	氏
臺中市	氏	氏	氏	氏
上海狄思威余里16	氏	氏	氏	氏
P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.	氏	氏	氏	氏
{Fazenda 1a Allianca, E. Lussanvira,	氏	氏	氏	氏
{L. Noroeste, S. Paulo, Brazil.	氏	氏	氏	氏

天 界 第百五十九號 昭和九年六月二十四日印刷 〔定價金參拾錢〕送料金壹錢

編輯兼發行者 京都市山科, 花山天文臺內(振替大坂56765) 東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂〔電本426. 427. 4501〕
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助
賣 京都市芝區南佐久間町2の3 恒 星 社(振替東京64738)

や會フラジル支部

天文觀測臺



勝

大窪氏
浦氏
神屋信一氏

西澤太一郎氏
北原地價造氏





花山天文臺
子午線館のほとり